

★浜小学校は、平成26年度と27年度の2年間、横浜市食育実践推進校に指定されました。

■活動の経緯

平成24年度より「食育」をテーマに学校保健委員会を開催している。

<平成23年度>

→浜小学校の給食残量は、磯子区内でワースト1位であり、毎日大量の「食べ残し」があった。このことを問題として提示したところ「このままではいけない」と学校全体で取り組むことになった。

<平成24年度>

→「給食を残さず食べる」意識を高めるための取組「一人一口運動」や「声かけ運動」を実践した。成果の出た取組については、学校保健委員会で報告しあい、他クラスにも広がっていった。浜小学校の給食キャラクター「五大栄養素ちゃん」が投票により選ばれた。

<平成25年度>

→決定したキャラクターを活用するために、給食委員会や体育・保健委員会の子ども達が様々なイベント（目指せ完食ペロリ賞、ハマリンピック等）を企画した。また、「食」に関するクイズを各クラス1問ずつ考えて全校で「パクパククイズラリー」を行った。これらの取組が評価され、横浜市学校保健優良学校として表彰された。

<平成26年度>

→横浜市より2年間「食育実践推進校」の指定を受けた。実践内容については全市に発信。昨年度までの取組を更により良くしていくために、磯子区スポーツセンターで活動されている横浜市体育協会の方と連携したり、地域に工場をもつ企業（日清オイリオ）の方のお力添えを受けたりしながら進めていきたい。

昨年度の年間テーマ

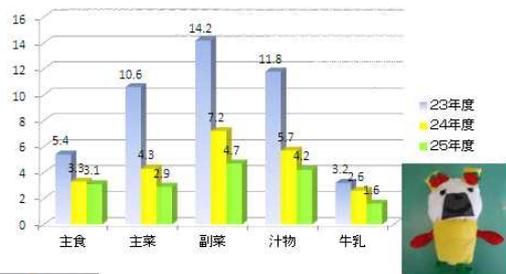
五大栄養素ちゃんを食卓で使おう

→「食育について重点的に取り組み、学校全体で健康づくりを目指す。」

学校保健委員会では、平成24年度から年間通して「食」を取り上げ、全校で給食の残量が減るような取り組みを展開したり、給食のキャラクター（五大栄養素ちゃん）をつくってイベントを企画したりした。目に見える結果が出たことで、子ども達にとっては大きな励みとなっている。

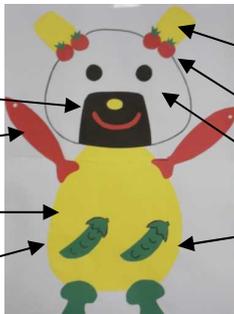
平成24年度から2年間続けて取り組んできた成果があらわれている。平成23年度は磯子区内でワースト1位の給食残量だった。しかし、24年度、25年度と継続した取組が実り、着実に給食残量は減少。全体的にバランスよく給食を食べられるようになった。

給食残量の推移(年間平均)



<五大栄養素ちゃん> パーツ説明

のり（たんぱく）	バター（脂質）
小魚（無機）	プチトマト（ビタミン）
卵（たんぱく質）	おにぎり（炭水化物）
さやえんどう（ビタミン）	きのこ（ビタミン）



今年度の年間テーマ

みんなで力を合わせて、健康な体をつくろう(仮)

→「昨年度の活動を発展させながら食育について取り組み、健康づくりをめざす。」